

教育実践学会

第 22 回大会

プログラム

会 期 : 2014 年 11 月 30 日 (日)

会 場 : 東京薬科大学

後 援 : 東京都教育委員会 八王子市教育委員会
多摩市教育委員会 玉川大学出版部
協同出版株式会社

教育実践学会第 22 回大会事務局
〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1
玉川大学教育学部 工藤巨研究室内
TEL 042-739-8026
e-mail : kudow@lab.tamagawa.ac.jp

〈大会日程〉

9時30分～	受付・弁当申込	教育2号館 2F キャリアプラザ前
10時00分～12時00分	自由研究発表	第1会場 教育2号館 2202 講義室 第2会場 教育2号館 2203 講義室 第3会場 教育2号館 2204 講義室
12時00分～13時00分	理事会・昼食	教育1号館第2非常勤講師控室
13時00分～13時30分	総会	教育2号館 2204 講義室
13時30分～16時00分	公開シンポジウム	教育2号館 2204 講義室

テーマ「ICT活用による授業実践と課題」

シンポジスト	松田 孝 先生（愛和小学校校長） 鈴木 二正先生（慶應義塾幼稚舎教諭） 滑川 敬章先生（千葉県立柏の葉高等学校教諭）
コーディネーター	田子 健 先生（東京薬科大学教授）

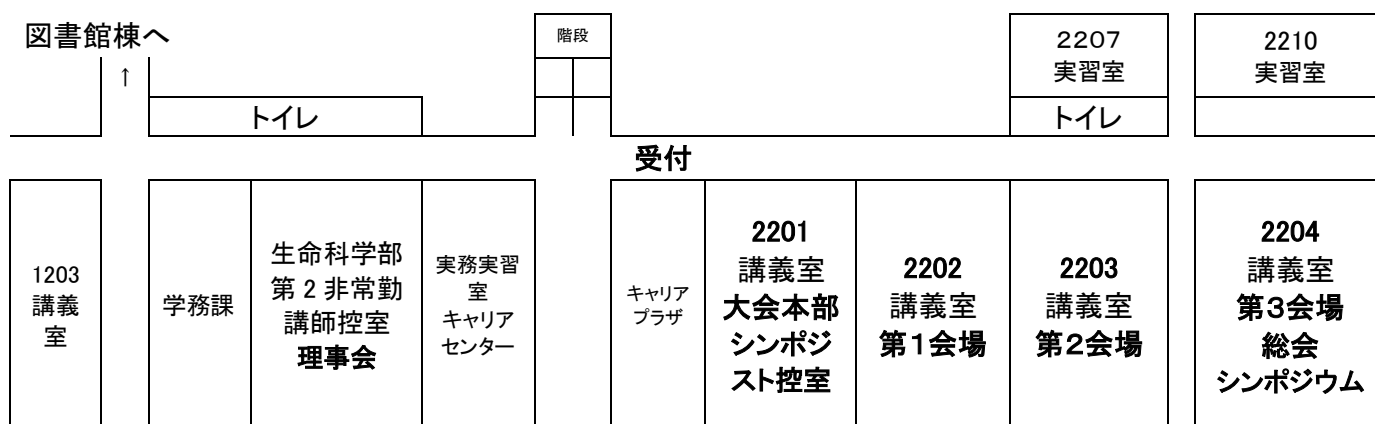
16時15分～18時00分 情報交換会・懇親会 学生会館

〈大会参加要項〉

1. 受付：11月30日（日）、9時30分から教育2号館 2F にて行います。
お弁当の希望者は10時までの間に申し込み下さい。
2. 参加費：会員は、1,000円、非会員は、1,500円、院生・学生は500円。
*発表要旨集代を含んでいます。*非会員の午後からの参加は無料です。
3. 学会費：2014年度会費は、5,000円です。（2013年度以前の会費が未納の方は合わせて納入下さいますようお願い致します）
4. 情報コーナー：当日、研究発表資料や配布を希望する資料等をお持ちの方は、受付までお持ち下さい。
5. 情報交換会：会員・非会員は4,000円です。院生・学生は、2,000円です。
6. 昼食：周辺に飲食店やコンビニエンスストアはございません。
予めご用意頂くか受付時に申し込みください。
7. 駐車場：学校内には駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用下さい。
8. 連絡先：玉川大学教育学部 工藤巨（第22回大会実行委員）
〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1
TEL 042-739-8026 E-mail kudow@lab.tamagawa.ac.jp
*当日の大会本部は、**教育2号館 2201 講義室**になります。

大会会場 東京薬科大学 教育2号館2階

- ・自由研究発表、総会、シンポジウムを行います。
- ・理事会は教育1号館2階第2非常勤講師控室で行います。



教育1号館2階

教育2号館2階

教育1号館と教育2号館は連続した建物です。

東京薬科大学へのバスの時刻表

土・日・祝日ダイヤ			土・日・祝日ダイヤ		
京王堀之内駅 発	時	東京薬科大学 発	平山城址公園駅 発	時	東京薬科大学 発
	7			7 40	
22 45	8 32		00 35 55	8 20 43 53	
24 43	9 03 13 43		07 15 37 55	9 17 32 45 57	
13 56	10 13 45		09 23 37	10 18 37	
36	11 25		03 17 43 57	11 04 17 44 57	
16 56	12 05 45		23 37	12 24 37	
36	13 25		03 17 43 57	13 04 17 44 57	
16 56	14 05 45		23 37	14 24 37	
36	15 25		03 17 43 57	15 04 17 44 57	
16 56	16 05 45		23 37 57	16 24 37	
18 38	17 25 55		17 47	17 04 26 46	
28	18 15 55		07 47	18 36	
08 48	19 35		27	19 16 56	
28	20 15 55		07 47	20 36	
	21			21	

東京薬科大学の周辺地図

より詳細な地図と説明を下記 URL からご覧いただけます。

<http://www.toyaku.ac.jp>

自由研究発表 第1会場 10時00分 ~ 12時00分 (2202講義室)

座長 滝沢 和彦 (大正大学)

10時00分

教員免許更新制の改善に関する研究

-現職教員の必修領域選好度調査結果を中心に-

田子 健 (東京薬科大学)

工藤 亘 (玉川大学)

森山 賢一 (玉川大学)

10時30分

学園史の授業から深める近代史の理解と地域社会との関わり

-戦前地方都市における私立女子中等教育を通じて-

飯森 明子 (常盤大学)

11時00分

道徳教育の新時代

-「特別の教科 道徳」と教員養成校の責務-

池田 哲之 (鹿児島女子短期大学)

11時30分

南極昭和基地とのライブ中継を通じた「南極教室」授業の実践

-第53次日本南極地域観測隊員との交流を通して-

千葉 雄司 (慶應義塾幼稚舎)

自由研究発表 第2会場 10時00分 ~ 12時00分 (2203講義室)

座長 川本 和孝 (玉川大学)

10時00分

tapを通じたインターンシップで習得した能力や要素についての一考察

工藤 亘 (玉川大学)

10時30分

体験学習サイクルを用いた学級経営

下鶴 唯 (多摩市立愛和小学校)

工藤 亘 (玉川大学)

11時00分

学校にサイエンスミュージアムを作ったらどんなことができるのか

相場 博明 (慶應義塾幼稚舎)

柘原 礼士 (慶應義塾幼稚舎)

千葉 雄司 (慶應義塾幼稚舎)

斉藤 裕一郎 (慶應義塾幼稚舎)

桑山 美芽 (慶應義塾幼稚舎)

11時30分

小学校2年生のタブレット端末を活用した授業実践

鈴木 二正 (慶應義塾幼稚舎)

西山 由麻 (慶應義塾大学大学院)

大川 恵子 (慶應義塾大学大学院)

自由研究発表 第3会場 10時00分 ～ 12時00分 (2204講義室)

座長 原田 恵理子 (東京情報大学)

10時00分

小学校・中学校連携に関する学校心理学的研究

荒嶋 千佳 (跡見学園女子大学大学院)

奥田 奈津子 (跡見学園女子大学大学院)

久野 優実 (跡見学園女子大学大学院)

山口 豊一 (跡見学園女子大学)

10時30分

女子大学生の発達障害児子育てイメージの考察

-半構造化面接を用いて-

鹿子田 睦月 (跡見学園女子大学大学院)

新 彩子 (跡見学園女子大学大学院)

山口 豊一 (跡見学園女子大学)

11時00分

不快に感じるストレスにどうつきあうか

-Think Globally, Act Locally (生態系サービスへの感謝) -

柏 頼英 (日本学校心理学会学校心理士)

森山 賢一 (玉川大学)

11時30分

思春期におけるアンビバレンスへの対応の具体的教育実践

-DEEDとDOERの認識-

森山 賢一 (玉川大学)

柏 頼英 (日本学校心理学会学校心理士)

*自由研究発表会場終了後、13時00分までを休憩および昼食の時間といたします。

理事会 12時00分 ～ 13時00分 (第2非常勤講師控室)

総会 13時00分 ～ 13時30分 (2204講義室)

挨拶 森山 賢一 (玉川大学教授 教育実践学会会長)

公開シンポジウム 13時30分 ～ 16時00分 (2204講義室)

テーマ『ICT活用による授業実践とその課題』

シンポジスト 松田 孝 先生 (多摩市立愛和小学校校長)
鈴木 二正先生 (慶應義塾幼稚舎教諭)
滑川 敬章先生 (千葉県立柏の葉高等学校教諭)

コーディネーター 田子 健 先生 (東京薬科大学教授)

情報交換会・懇親会 16時15分～ 18時00分 (学生会館)

挨拶 田子 健 (東京薬科大学教授 第22回大会実行委員長)

公開シンポジウム

13時30分 ～ 16時00分 （2204講義室）

テーマ『ICT活用による授業実践とその課題』

- シンポジスト 松田 孝 先生（多摩市立愛和小学校校長）
- 鈴木 二正先生（慶應義塾幼稚舎教諭）
- 滑川 敬章先生（千葉県立柏の葉高等学校教諭）
- コーディネーター 田子 健 先生（東京薬科大学教授）

松田 孝（まつだ たかし）

■略歴

多摩市立愛和小学校校長。

東京学芸大学教育学部卒、上越教育大学大学院修士課程修了。

東京都公立小学校教諭、指導主事、主任指導主事（指導室長）を経て、多摩市立東愛宕小学校（現、愛和小学校）に就任。

iPadをはじめとするICT教育により、授業、教員そして地域のリデザインを促し、新たな教育の地平を拓いている。

「ICT機器の現場への導入は多大な費用を必要とします。企業などとのコラボレーションによって教育を学校現場から変えることができるのではないかと。校長がアントレプレナーシップを発揮することで、教育は学校現場から変えられると信じています。」

■「ICT活用による授業実践とその課題」について

学校現場にタブレットPCが配備されるようになって、その利活用に注目が集まっている。しかし子どもたちは一日の学校生活、授業場面でタブレットPCをどれほど活用しているのだろうか？

多くの自治体ではパソコン教室のデスクトップPCの入れ替えを名目に40台前後のタブレットPCを配備しているのが実情である。学校規模が300, 400, 500人のところで、タブレットPCの活用ログをとって人数割すれば、限りなく0に近いことは容易に想像される。そんな現状においてICT活用の成果云々などは言えるはずがない。活用と非活用の有意差が測れるまでにタブレットPCを活用できる台数の確保とそれを必要不可欠なツールとして使いこなそうとする教員のマインドセット、チェンジが最大の課題である。

確かにこれまで日本における教科教育は、指導法や授業展開において多くの知見を生み出してきたが、それはここ数年の間に劇的な発展をとげたテクノロジーを当たり前前のプラットフォームとして構築されたものではない。現状、多くの教員はこの乖離に直面して戸惑いを隠しきれないでいる。

このような状況下、本校では曲がりなりにも1年間継続的に、タブレットPCを子どもたち一人に1台貸与して、教育実践してきた。その現場に校長として立ち会い、感じたことを率直に述べさせていただき、テクノロジーを当たり前前に活用した新しい教育Style、新しい授業づくりに向けたきっかけとしたいと考えている。

鈴木 二正 (すずき つぐまさ)

■略歴

1998年3月 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 修士課程 修了。
村井純研究室にて、インターネットと教育についての修士論文を執筆

1998年4月より慶應義塾幼稚舎 教諭

最初の6年間は、新規科目である「情報科」を立ち上げて、カリキュラム作成と情報教育を担当。授業と共に、幼稚舎内のコンピュータネットワークの構築およびサーバ管理、教員校務の情報化を推進。2005年～2006年の1年間、慶應義塾派遣留学生として、米国ボストンにあるタフツ大学教育工学研究所の客員研究員を経て、2007年4月より、慶應幼稚舎にて担任教諭（現在に至る）。

著書など

- ◆著書『コンピュータと友だちになる本 子どものためのIT教科書』（小学館）
- ◆邦訳『レゴブロックとROBOLABで学ぶエンジニアリングアプローチ（カットシステム）』
- ◆共著『IT2001-なにが問題か』（岩波書店）
- ◆共著『21世紀のこどもたち-初等・中等教育のモデルを求めて』（慶應義塾大学出版会）
- ◆監修『りらくまドリル』シリーズ（主婦と生活者） 合計10冊
- ◆監修『イナズマイレブンGO学習ドリル』シリーズ（主婦と生活者） 合計3冊

ソフトウェア開発など

- ◇『学校向けBackOfficeツールキット』開発（マイクロソフト社）
- ◇『おじゃる丸 かずあそび』『おじゃる丸 ことばあそび』監修（イーフロンティア）
- ◇小学生向けポータルサイト『きつずgoo』特別協力パートナー
- ◇『Robolab』（プログラミングソフトウェア環境）version2.9日本語版開発

論文・研究活動など

- 芳賀・鈴木・大谷、「検定済教科書等のデジタル化に関する課題の検討～デジタル（検定済教科書の無償化やオープンアクセス化の可能性～）」、電子情報通信学会、2014.7.3
- 鈴木・西山・大川、「慶應義塾幼稚舎におけるタブレット授業の実践～小学校1年生からのICT教育～」、日本デジタル教科書学会 2014年度年次大会（新潟大会）実践発表、2014.8.16
- 芳賀・鈴木・大谷、「教育用デジタル著作物の権利処理・調整コンソーシアム設立の提案」、日本デジタル教科書学会 2014年度年次大会（新潟大会）ポスターセッション、2014.8.17

現在の研究テーマは、「初等教育におけるICT活用推進に関する研究」。具体的には、実際の小学校教育の現場において、IWBやタブレットなどのICT機器を導入・整備して、ICTを活用した授業実践を持続的かつ継続的に行っている。実際の授業場面では、教師が一人に対応するのではなく、TAや、授業配信・授業記録・授業解析などの専用チームを作って対応。授業場面の映像記録や、子どもたちからのヒアリングやアンケート調査などを基にして、ICTを活用した実践事例を分析し、効果が期待できる教科、授業場面について整理。従来型の通常の授業と、デジタル教科書やタブレット端末を使ったICT活用授業の比較検討から、ICTの活用が有効な指導方法やモデルカリキュラムを研究開発。また、ICT活用により期待される教育効果についても整理を行い、教育効果の測定の方法の確立と、測定結果の検証方法についても研究を行っている。

滑川 敬章 (なめかわ たかふみ)

■略歴

1989年3月 千葉大学大学院教育学研究科修了 教育学修士

1989年4月 千葉県公立学校教員として千葉県立沼南高等学校に着任

以降、柏市立柏高等学校、千葉県立柏西高等学校を経て、

2007年4月から、千葉県立柏の葉高等学校勤務

千葉県で初となる情報に関する専門学科「情報理数科」の立ち上げを行う

学科主任

全国専門学科「情報科」高等学校長会 事務局

■著書など

- ・共著「情報心理－情報メディアと行動心理」(日本文教出版)
- ・その他、高等学校の情報科の教科書、副教材などを執筆

■テーマ「ICT活用による授業実践と課題」に関する意見等

情報科では、授業で毎回 ICT 機器を使用している。これは、「わざわざ使う」という感覚ではなく、ノートや鉛筆を使うように自然なものであり、今回のテーマにある「ICT活用」とはちょっと感覚が違うかもしれない。授業では、ICT活用のスキルや必要な知識を学ぶ場面もあるし、ICTを活用してさらに学ぶこともある。

最近の実践を一つ例として挙げると、「統計を使った問題解決」がある。この授業では、身の回りの具体的な問題を解決する実習の中で、情報機器や情報通信ネットワークの活用とともに、統計的な問題解決を意識した指導をしている。

情報科における ICT 活用の課題としては、次のようなものが挙げられる。

- ・タイピング等の基本リテラシーの低下
- ・ICT活用以前の言語力、論理的な思考力の低下
- ・コンピュータやネットワーク環境の管理、更新・整備
- ・学校内での管理者の不在

高校生のリテラシーは、情報機器の普及とは逆に低下しているように感じている。これは、スマートフォンやタブレット等の普及の影響もあるのではないかと考えている。

一般的に、高等学校での ICT 活用は小中学校に比べるとまだまだという印象がある。高等学校は、小中学校と比べて教科による個性が強い。そのため、ICT活用は学校の組織的な取組ではなく、「人」によるものとなってしまうがちである。

授業で ICT を活用しようとするとき、生徒が情報科で学んでいることを、他教科の先生が理解することが必要であると感じている。生徒たちが持っているリテラシーが分かっていないと、他教科での ICT 活用は進まないのではないだろうか。また、高等学校3年間のカリキュラムの中で、ICT活用を前提とした配慮が必要であるとも感じている。

教育実践学会第22回大会実行委員会

実行委員長 : 田子 健 (東京薬科大学)
実行副委員長 : 木村清治 (東京薬科大学)
 浅野俊雄 (東京薬科大学)
委 員 : 工藤 巨 (玉川大学)
 千葉雄司 (慶應義塾幼稚舎)
 川本和孝 (玉川大学)
 野口穂高 (早稲田大学)
 梶 正憲 (常北中学校)

教育実践学会

第22回大会プログラム・要旨集

平成26年11月30日 発行

教育実践学会事務局

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1

玉川大学教育学部 工藤巨研究室内

TEL 042-739-8026

e-mail : kudow@lab.tamagawa.ac.jp

来春刊行開始

小学校〈教科力〉シリーズ

A5判並製・各約208頁 本体各2400円

教師の力量形成のうえで重要な、各「教科」の内容構成の理解を助ける。教科内容を丁寧に解説し、教科実践力の基礎を担う。教材研究の手引きともなる。全9巻。

- 国語 松本修 編著
- 社会 寺本潔 編著
- 算数 守屋誠司 編著
- 理科 石井恭子 編著
- 生活 寺本潔 編著
- 音楽 梅沢一彦 編著
- 図画工作 高橋愛 編著
- 家庭 池崎喜美恵 編著
- 体育 高島二郎 編著

既刊

教科指導法シリーズ (小学校)

B5判並製・200×258頁 本体各2000円

各教科・各領域の指導内容や授業づくりのポイントを具体的に提示する。全9巻。

- 国語 植松雅美 編著
- 社会 寺本潔 編著
- 算数 守屋誠司 編著
- 理科 梅本信一 編著
- 生活 寺本潔 編著
- 図画工作 渡邊千恵子 編著
- 家庭 池崎喜美恵 編著
- 体育 金井茂夫 編著
- 特別活動 北村文夫 編著

保育・幼児教育シリーズ

B5判並製・各約208頁 本体各2400円

平成21年に施行された新しい保育所保育指針、幼稚園教育要領に対応し、保育内容や保育方法の基礎から実践までを自学自習できる。全5巻。

新刊

言葉の指導法 大豆生田啓友 編著
佐藤浩代

大豆生田啓友／佐藤浩代／青山誠／柴田愛子／河合高鋭／甲斐仁子(執筆)

既刊

表現の指導法 田澤里喜 編著

田澤里喜／花輪充／佐藤厚／押切道子／竹本由美子／藤田寿伸／二木秀幸／佐藤援／西井宏之／飯塚奈央子／朝日公哉／石川秀香／直井崇(執筆)

健康の指導法 宮崎豊 編著
田澤里喜

宮崎豊／田澤里喜／高島二郎／鈴木美枝子／山田信幸／鈴木隆／町山太郎／後藤光葉(執筆)

続刊

環境の指導法 若月芳浩 編著

若月芳浩／坂本喜一郎／大井美緒／佐藤馨一／河合光利／櫻井利昭／相馬靖明(執筆)

人間関係の指導法 若月芳浩 編著
岩田恵子

若月芳浩／岩田恵子／高嶋景子／宇田川久美子／林浩子／三谷大紀／阿江美知代(執筆)

学びの技

14歳からの探究・論文・プレゼンテーション

後藤芳文・伊藤史織・登本洋子 著
本体1600円

テーマの決め方から情報収集の方法、マインドマップなどを活用した論文執筆やプレゼンテーションの効果的な工夫まで。「技」を見開き形式で紹介する。中高生の探究型学習に好適。

学級経営読本

北村文夫 編著 本体2400円
学級づくりの基礎基本から実践まで、具体的な事例やポイントを解説する。

道徳の指導法 [第二版]

村田昇 編著 本体1800円
道徳教育のあり方を、公正な立場から本質的に解明し、実践への手がかりを提示する。

学校教育制度概論

坂野慎二・福本みちよ 編著 本体2200円
変動する社会における学校教育制度の歴史的発展過程や課題を整理する。

教育課程編成論 [第二版]

加藤幸次 編 本体2200円
平成20年に改訂された小・中学校の学習指導要領の背景を解説する。

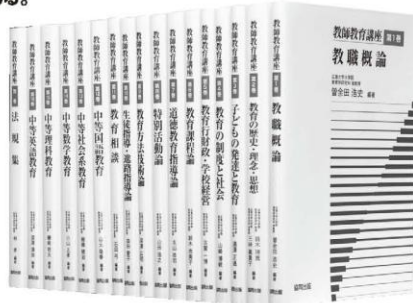
協同出版の教育図書

教師教育講座 全16巻+別巻

明治以来、日本の教員養成において中心的役割の一翼を担ってきた広島大学。

2012年に中央教育審議会から出された「教員養成の高度化、修士化、質の保証」を求める動きに対して、広島大学としての方向性を示すべく、教職課程の授業担当者を中心として集結。大学授業に供するべく執筆した。

これからの教員志望者が、高度な知識の習得と教職に関する知識を深め、実践に活かせるように熟考され編まれた内容は、授業テキストとして最適な全16巻+法規集のシリーズである。



教師の基礎が学べる必携シリーズ

- | | |
|---|--|
| 第1巻
教職概論
ISBN 978-4-319-10670-7 A5判 本体2,200円+税
◎ 広島大学教員 曾余田 浩史 | 第9巻
教育方法技術論
ISBN 978-4-319-10678-3 A5判 本体2,200円+税
◎ 広島大学教員 深澤 広明 |
| 第2巻
教育の歴史・理念・思想
ISBN 978-4-319-10671-4 A5判 本体2,500円+税
◎ 広島大学教員 鈴木 理恵
◎ 広島大学教員 三時 真貴子 | 第10巻
生徒指導・進路指導論
ISBN 978-4-319-10679-0 A5判 本体2,200円+税
◎ 広島大学教員 森田 愛子 |
| 第3巻
子どもの発達と教育
ISBN 978-4-319-10672-1 A5判 本体2,200円+税
◎ 広島大学教員 湯澤 正通 | 第11巻
教育相談
ISBN 978-4-319-10680-6 A5判 本体2,200円+税
◎ 広島大学教員 石田 弓 |
| 第4巻
教育の制度と社会
ISBN 978-4-319-10673-8 A5判 本体2,200円+税
◎ 広島大学教員 山崎 博敏 | 第12巻
中国語教育
ISBN 978-4-319-10682-0 A5判 本体2,700円+税
◎ 広島大学教員 山元 隆春 |
| 第5巻
教育行財政・学校経営
ISBN 978-4-319-10674-5 A5判 本体2,200円+税
◎ 広島大学教員 古賀 一博 | 第13巻
中等社会系教育
ISBN 978-4-319-10685-7 A5判 本体2,600円+税
◎ 広島大学教員 棚橋 健治 |
| 第6巻
教育課程論
ISBN 978-4-319-10675-2 A5判 本体2,200円+税
◎ 広島大学教員 鈴木 由美子 | 第14巻
中等数学教育
ISBN 978-4-319-10686-4 A5判 本体2,600円+税
◎ 広島大学教員 小山 正孝 |
| 第7巻
道德教育指導論
ISBN 978-4-319-10678-8 A5判 本体2,200円+税
◎ 広島大学教員 丸山 恭司 | 第15巻
中等理科教育
ISBN 978-4-319-10685-1 A5判 本体2,600円+税
◎ 広島大学教員 磯崎 哲夫 |
| 第8巻
特別活動論
ISBN 978-4-319-10677-6 A5判 本体2,200円+税
◎ 広島大学教員 山田 浩之 | 第16巻
中等英語教育
ISBN 978-4-319-10688-8 A5判 本体2,600円+税
◎ 広島大学教員 深澤 清治 |
| | 別巻
法規集
ISBN 978-4-319-10681-3 A5判 本体2,200円+税
◎ 広島大学教員 林 孝 |

新教職教育講座 全8巻

「学び続ける教員像」が中央教育審議会から提言されている今、明治時代以降日本の教員養成の中心的存在である筑波大学の先生方が中心となり執筆した新時代に相応しい内容の講座。

高度の知識の習得と教職に対する理解を深め、実践に活かすための専門書。



理論と実践の往還による「学び続ける教師」のための新シリーズ

- | | |
|--|---|
| 第1巻
教育の思想と歴史
ISBN 978-4-319-10680-8 A5判 本体2,200円+税
◎ 筑波大学教員 新井 保幸
◎ 筑波大学教員 上野 耕三郎 | 第5巻
教科教育の理論と授業Ⅰ—人文系—
ISBN 978-4-319-10684-8 A5判 本体2,200円+税
◎ 筑波大学教員 井田 仁康
◎ 筑波大学教員 卯城 祐司
◎ 筑波大学教員 塚田 泰彦 |
| 第2巻
学校教育と経営
ISBN 978-4-319-10681-5 A5判 本体2,200円+税
◎ 筑波大学教員 窪田 真二
◎ 筑波大学教員 清水 一彦 | 第6巻
教科教育の理論と授業Ⅱ—理数系—
ISBN 978-4-319-10685-3 A5判 本体2,200円+税
◎ 筑波大学教員 大高 泉
◎ 筑波大学教員 清水 美恵 |
| 第3巻
学校教育のカリキュラムと方法
ISBN 978-4-319-10682-2 A5判 本体2,200円+税
◎ 筑波大学教員 大高 泉
◎ 筑波大学教員 田中 統治 | 第7巻
発達と学習
ISBN 978-4-319-10688-0 A5判 本体2,200円+税
◎ 筑波大学教員 櫻井 茂男
◎ 筑波大学教員 茂呂 雄二 |
| 第4巻
生徒指導とカウンセリング
ISBN 978-4-319-10683-9 A5判 本体2,200円+税
◎ 筑波大学教員 石隈 利紀
◎ 筑波大学教員 庄司 一子 | 第8巻
道德教育の理論と実践
ISBN 978-4-319-10687-7 A5判 本体2,200円+税
◎ 筑波大学教員 福田 弘
◎ 筑波大学教員 吉田 武男 |

教育法規の基礎理解

—この一冊で教育法規の学び方がわかる—
教職をめざす学生と教職に就いた教員が教育法規について学ぶための実践的な参考書。

筑波大学教授・元国立教育政策研究所長
徳永保 編著
ISBN978-4-319-00266-5
A5判 本体 2,000円+税



必携教職六法

2015年度版

2015年度の教員採用試験、
管理職試験もこの一冊でOK!

監修 編集委員
仙台大学副学長 広島大学大学院教授 筑波大学大学院教授 白鷺大学教授
若井 彌一 河野 和清 高見 茂 結城 忠
ISBN978-4-319-64115-4
A5判 本体 2,200円+税



協同出版

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-5 TEL 03 (3295) 1341 FAX 03 (3233) 0970

ホームページ <http://www.kyodo-s.jp>